一般社団法人日本地質学会2024年度総会

一般社団法人日本地質学会 2024年度総会議事録

１．日時　2024年6月8日（土）14:00～15:45
２．場所　Zoomオンライン会議システムによるWEB会議形式
３．出席役員
理事：岡田　誠（代表理事　会長）・杉田律子（副会長）・星　博幸（副会長）
青矢睦月・芦寿一郎・天野一男・磯﨑行雄・保坂（内尾）優子・内野隆之・大友幸子・大橋聖和・緒方　信一・尾上哲治・加藤猛士・狩野彰宏・野口（神谷）奈々・亀田　純・亀高正男・北村有迅・小松原純子・小宮　剛・斎藤　眞・坂口有人・沢田　健・下岡和也・髙嶋礼詩・中澤　努・西　弘嗣・野田　篤・細矢卓志・保柳康一・榊原（堀）利栄・松田達生・松田博貴・三田村宗樹・道林克禎・矢島道子・矢部　淳・山口飛鳥・山路　敦・山本啓司　以上，理事41名
監事：岩部良子・山本正司　　以上，監事2名
４．議長および議事録作成者
総会開催にあたり定款24条に従い本日出席の代議員から，議長として青野道夫代議員を選出した．
議長は審議開始に際し，オンライン会議システムにより，出席者が一堂に会するのと同等十分な議論を行うことができる環境であることを確認した．次に総会規則第15条に従い書記として澤田大毅代議員ならびに松崎賢史代議員を指名し，同時に議事録署名人として，両名を指名した．
５．議事の経過の要領及びその結果
出席社員の確認
代議員（＝社員）総数136名
議決権総数　136個
定足数　69個
出席者数　99名（議場出席者42，議決権行使書28，委任状29）
議長は，出席者数を確認し，総会定足数である代議員の過半数69名をこえる出席者があるので成立している旨宣言し，議事に入った．

第1号議案　2023年度事業報告・決算報告・監査報告

１）中澤常務理事より，資料にもとづき2023年度の事業報告があった．学術大会，学術研究活動，出版活動，地質災害対応，広報・普及活動，社会貢献，地学教育，国際連携，会員サービス・学会運営の各事業について概要が説明された．会員動静では，2023年4月末に比べ39名会員数が減少したことが報告された．学生会員の増加により会員数減少の割合は低下している．2023年5月から2024年4月末までに逝去された会員および今年度において逝去が判明した会員17名（うち名誉会員5名）に対し，黙祷を捧げた．次に，各支部の活動について実施概要が紹介され，続いて，執行理事会および理事会議決・承認事項について，以下の通り資料から抜粋して報告があった．2025年以降の学術大会開催地が紹介された（2025年度：熊本大学；2026年度：金沢大学）．オンライン選挙システムについて，正・副会長立候補意思表明者に対する意向調査では投票率が思わしくなく，投票期間延長の措置をとった．その反省から理事選挙では周知を徹底したところ，むしろ投票率は例年よりも向上したことが報告された．107名の会員を永年会員として顕彰することとした．各賞選考委員会より提案され理事会で承認した各賞授賞者の報告があった．2023年度内にご寄付いただいた方（磯﨑行雄会員）の紹介があった．
２）会計担当の亀高理事から，2023年度決算について報告があった．事業活動収入の部では，会費収入は予算に比べ増加し，年会開催収入も京都大会フル開催により増加した．支部イベントはオンライン開催により参加費収入が得にくい形となっている．事業活動支出の部では，年開催事業費は概ね予算通り．支部活動費はオンライン化により収入だけでなく支出も減少している．管理費の支出減少はHPリニューアルの費用が消化されなかった点が大きい．引当金取り崩しを考慮すると，収支差額はあまり大きくないとの説明がなされた．
　その後，山本正司監事より監査報告があり，事業報告および計算書類等について適正であることが報告された．
３）質疑：若手育成補助に関して，若手活動運営委員会の菊川代議員より感謝の意が示された．また，選挙システムを利用して実施された正副会長立候補意思表明者に対する意向調査について，投票率が低かったのは，新しいシステム自体に対する声なき不信任ではないか，との関東支部会員からのコメントが小田原代議員（議決権行使書）を通じて紹介された．これに対して，他の代議員からは，選挙システム導入により利便性は向上している，理事選挙では十分な投票数が得られておりシステム自体に問題はないと考えるとの意見が出たが，一方で，リマインダが来なければ忘れやすい，周知方法には課題があるなどの意見もあった（吉田代議員，阿部代議員）．これらに対して中澤常務理事からは，会員からの意見を真摯に受け止め，2023年度選挙の分析を行うとともに，選挙システム（会員システム）の利用率向上や選挙実施の周知徹底の方策を検討していく旨回答があった．
　本議案について採決の結果，全会一致（議場42，議決権行使書28，委任状29）で承認された．

第2号議案　代議員，理事および監事選挙結果報告

金沢直人選挙管理委員会委員長より，現役員が本総会終了と同時に任期満了し退任となるため，代議員および理事，監事選挙を実施した旨とその結果が報告された．代議員選挙，理事選挙のうち地方支部区選出枠，監事選挙に関しては，候補者が定数内であったため，無投票当選とした．理事選挙のうち全国区選出枠については，定数43名に対して立候補者数44名だったため当選代議員による投票を実施し，理事を選出した．有権者総数は170名，有効投票数は133名であった．
本議案について採決の結果，全会一致（議場42，議決権行使書28，委任状29）で承認された．

第3号議案　2024年度事業計画

岡田会長より，2023年度の本学会の事業成果を踏まえた2024年度の事業計画の基本方針が示された．学術大会は山形大学にて9/8-10開催予定．今年度もショートコース開催に注力する．出版活動においては，優れた論文の確保と安定した出版を目指し，それによるダウンロード数や引用数の増加を期待し，新規の特集号の企画を積極的に推進する．また，学会ウェブサイト（HP）の抜本的な刷新作業に着手し，加えて，学会公式SNSの本格運用により社会への速報性を高め，情報発信をこれまで以上に効果的かつ効率的に行う．会員サービスに関しては，会員定着率向上に向け，継続的な若手支援，若手会員層の拡充に努め，今年度からはシニア層に対しての検討を開始する．新しい会員システムについては，会員へのさらなる周知を進め，事務局業務の合理化を図る．
　瀬戸代議員より，普及活動，地学教育に関わる事業計画において，博物館との連携が明記されていないが，具体的な取り組みやアイディアはないかとの質問に対し，岡田会長より，これまでも博物館とは地質情報展の開催，「地質の日」の取り組み，そのほか普及イベントの開催を通じて連携を図ってきた．学会として今後もさらに関与を深めていきたいとの回答があった．
　3号議案については，出版活動の項目で，ジオパーク支援委員会提案の書籍出版計画の記載が漏れているため，事業計画骨子に追記することとした．
　本議案について採決の結果，全会一致（議場42，議決権行使書28，委任状29）で承認された．

第4号議案　2024年度予算案

亀高理事から，2024年度収支予算案について説明があった．会費収入は会員数5％減として減収で試算．事業収入は概して前年度並みを見込んでいる．山形大会の実施に際しては，山形コンベンションビューローの助成金を見込んでいる．支出は概ね前年度並みを見込むが，通信費，紙代等の価格値上げのため増加が見込まれる．管理費のうち通信運搬費にHPリニューアル費用が引き続き計上され，OA機器・システム等保守管理費は選挙システムの導入が完了したため前年度より減少との説明があった．

4号議案の会費収入に学生会員100名の入会を想定していることに対して，昨年度の入会実績について質問があった．事務局より2023年度正会員入会者157名中，学生会員128名との報告があった．また，学生パック会費は更新忘れや，更新しない懸念があるが，何か対策は考えているかとの質問に対し，亀高理事より，これまでも会費滞納者に対しては個別にメール等でのリマインド対応を行っているので，同様の対応を取りたいとの回答があった．

本議案について採決の結果，全会一致（議場42，議決権行使書28，委任状29）で承認された．

5号議案　名誉会員の選出

星副会長より，推薦候補者3名について紹介があった．

本議案について採決の結果，全会一致（議場42，議決権行使書28，委任状29）で承認された．

6号議案　運営規則の変更

中澤理事より，Island Arc Award の廃止提案とそれに伴う運営規則の変更について説明があった．当初プロモーション活動の一環として，ブラックウェル社（現ワイリー社）提供の賞金付きの賞として「日本地質学会Island Arc賞」が創設された．ワイリー社のプロモーション活動終了に伴う賞金提供の廃止や，Island Arc掲載論文は論文賞の表彰対象となっているなど，廃止理由の説明があった．

本議案について採決の結果，全会一致（議場42，議決権行使書28，委任状29）で承認された．

以上をもって全ての審議を終了した．最後に岡田会長より，退任にあたり副会長，常務理事はじめ理事会に対する謝意が述べられ，2年間の会長職の中で，若手会員増加および会員の定着に向けた取り組みを実施し，成果が上がってきている．という趣旨の挨拶があり，その後議長は閉会を宣言した．

2024年6月8日

以上，決議を明確にするためこの議事録を作成し，議長，副議長および出席理事がこれに記名，押印する．

一般社団法人日本地質学会2024年度総会

総会議長　　青野道夫
議事録署名人　　澤田大毅
議事録署名人　　松崎賢史
代表理事　　岡田　誠
理　事　　中澤　努